



GEIL

学生のための
政策立案コンテスト
2018

Nチーム政策案

ならしお2048

はじめに

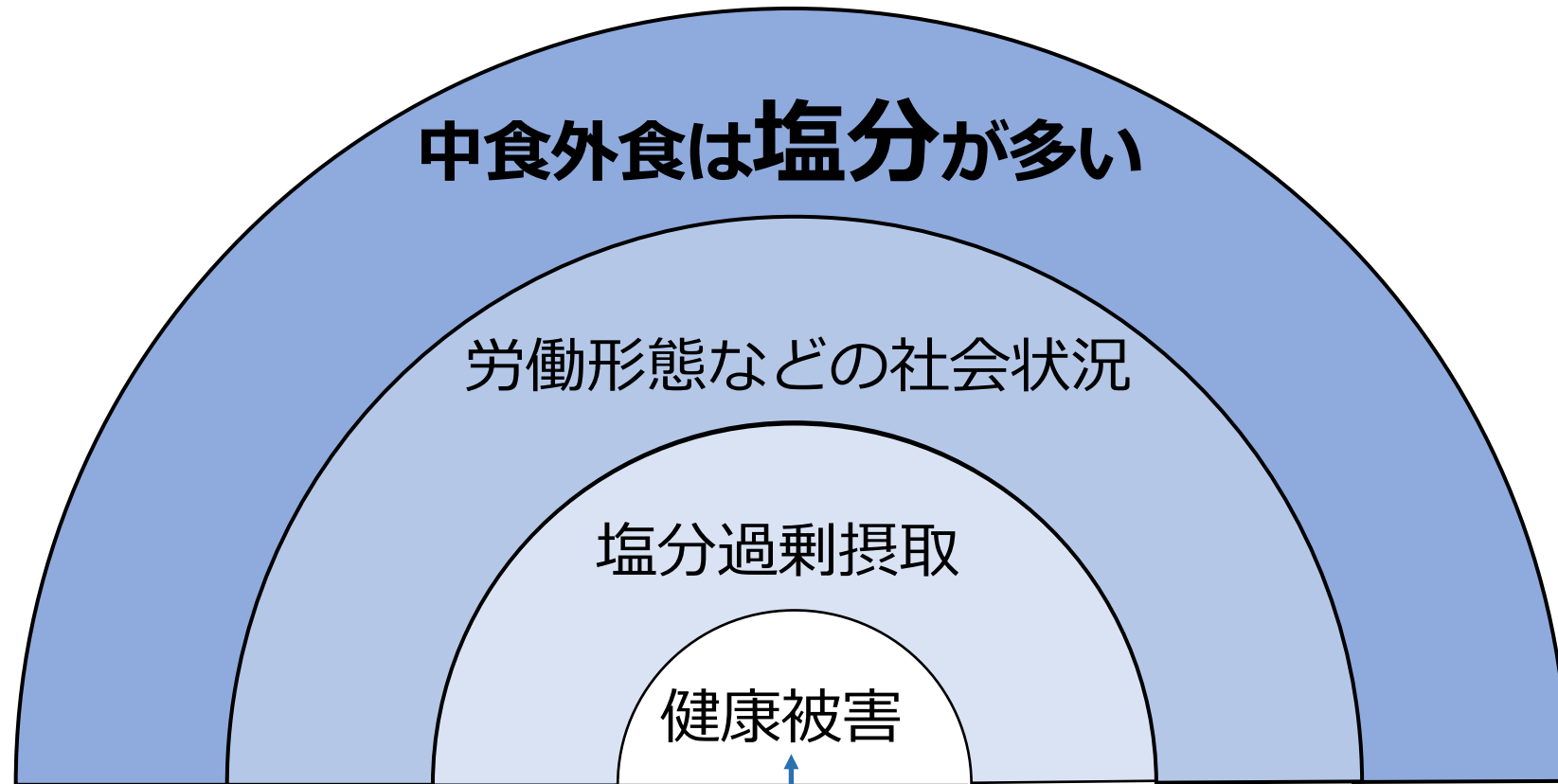
「ならしお2048」の概要

中食・外食の塩分を国民の味覚を

『**慣ら**』しながら徐々に『**塩**』を減らしていく政策



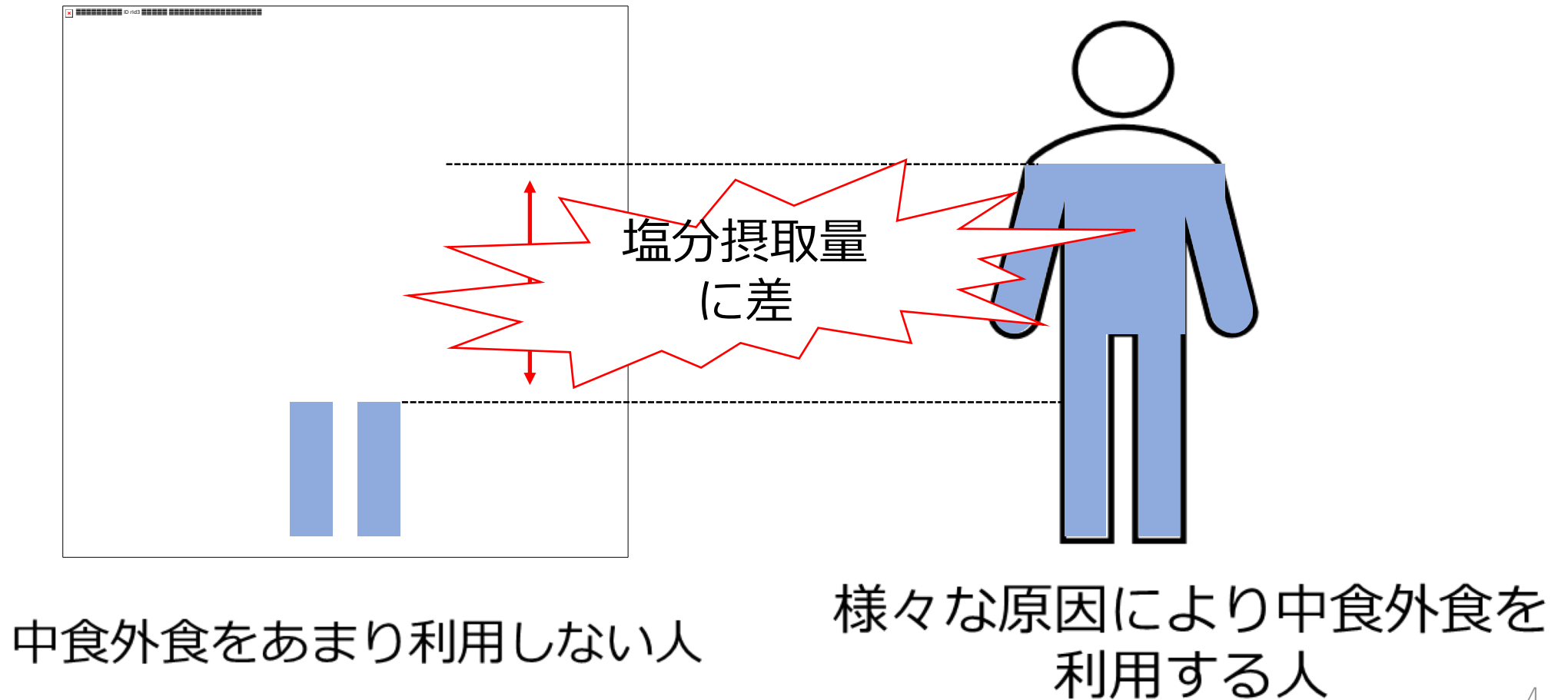
現状分析



例：心疾患、脳卒中



私たちの考える健康格差



実現したい理想状態

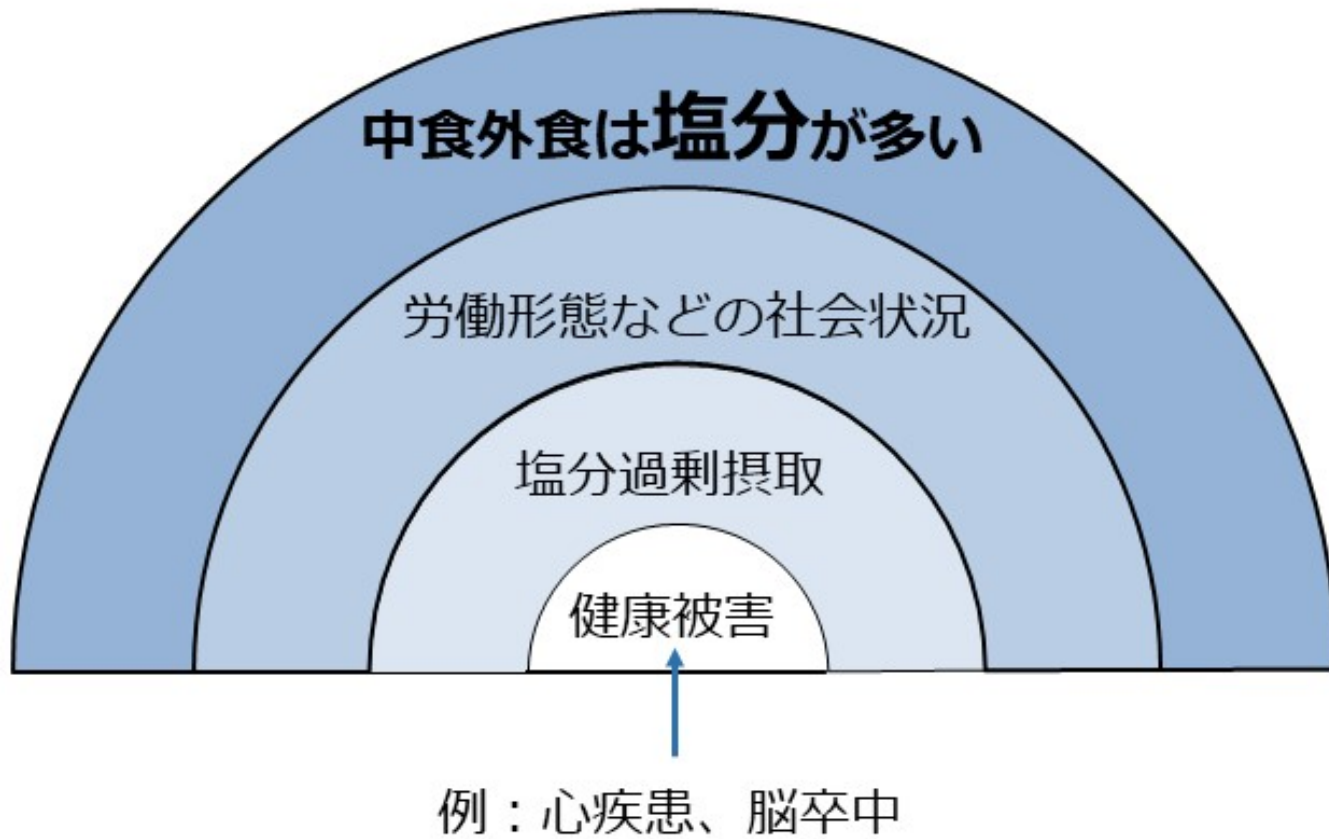
消費者はどのような食生活をしていても健康を損なわない

つまり…

- ① **健康と食生活の多様性**が両立する社会
- ② **意識せずとも健康**になれる社会



問題領域の設定



中食外食の塩分を減らす



従来の「健康に悪い中食外食」
から

「健康的な中食外食」へ



問題領域の設定

Q 1. なぜ中食外食の利用を減らそうとしないのか？

A 1.

- ・中食外食の減塩の方が効率的
- ・中食外食にも利点、市場規模大

Q 2. なぜ塩分に着目したのか？

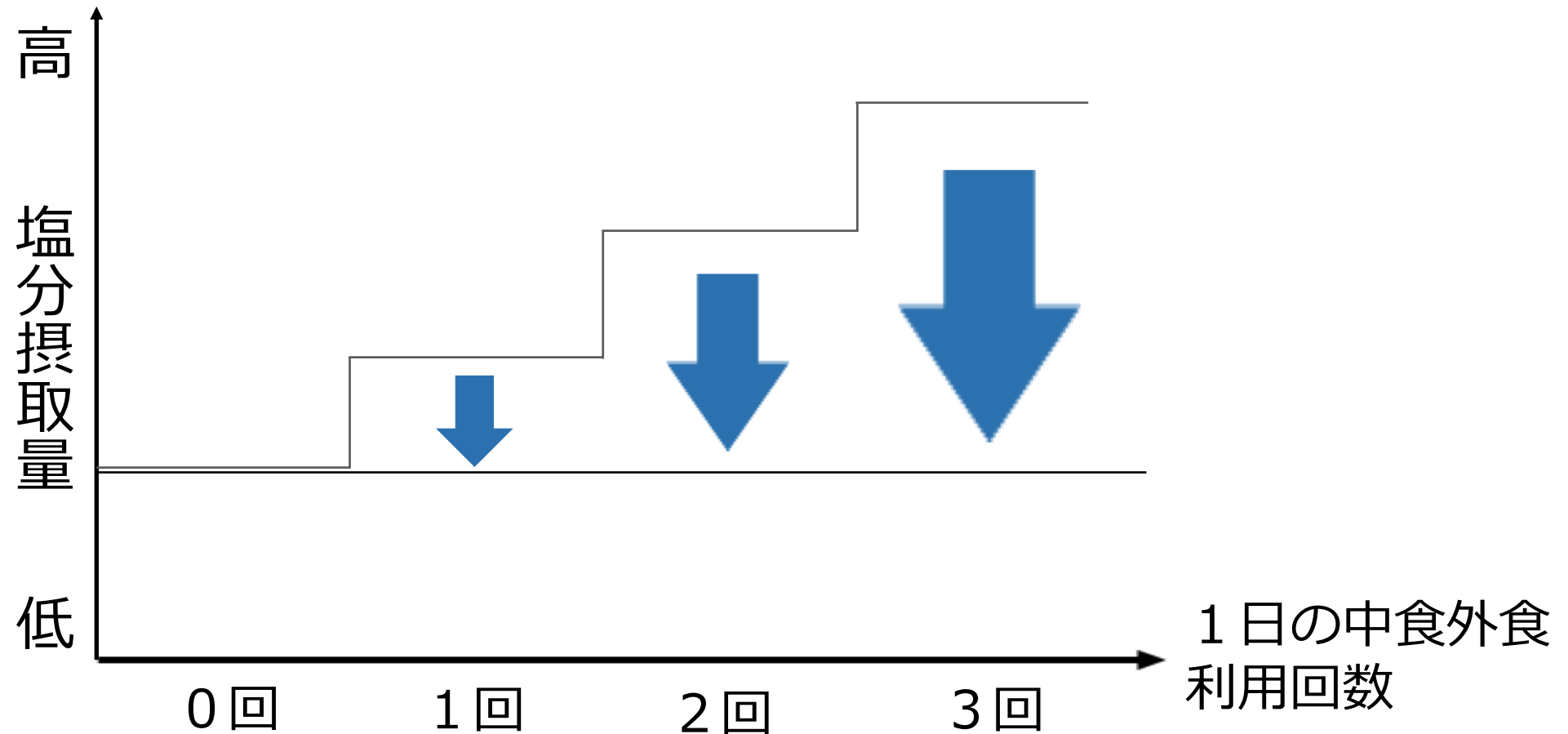
A 2.

- ・減量の成功事例あり（英・米）
- ・塩分過多は多くの疾病の原因



政策によって期待される変化

中食外食の利用頻度が多い人ほど大きな効果



政策案 「ならしお2048」

「なぜ中食外食の塩分は減らないのか？」

a. 薄味よりも濃い味の方が売れる

ならしお第一の矢 ～**長期減塩計画**～



b. 塩分の多い食事の提供は企業の社会的責任に反するという意識が欠けている

ならしお第二の矢 ～**広報計画**～



c. 塩分過多対策のための研究は企業にとって負担

ならしお第三の矢 ～**研究支援計画**～



ならしお第一の矢 ～長期減塩計画～

【具体的内容】

1. 調味料業者へアプローチ

国民が違和感を覚えないペースでの段階的減塩を要請

2. 中食・外食業者へアプローチ

①調味料の使用量を増やさないよう指導

②商品ジャンルごとに減塩目標値を設定するよう指導



ならしお第一の矢 ～長期減塩計画～

- 要請の程度

第二の矢『広報計画』の進み具合に応じて強化

→将来的には法的拘束力を持つ命令も想定

- 企業へのインセンティブ

イメージ向上 法的負荷

- 減塩のペース

第三の矢『研究支援計画』における研究機関と各業界が有識者を交え協



ならしお第一の矢 ～長期減塩計画～

【具体的目標】

- **30年**で、3食全て中食外食の人の食塩摂取量を食事摂取基準(男性8g 女性7g)まで減少させる
- **5年**おきに規制&要請方法を評価変更

参考文献
厚生労働省「健康日本（第二次）」



ならしお第一の矢 ～長期減塩計画～

【メリット】

- 国民一人ひとりではなく企業に対するアプローチであるため、相対的に実効性が期待できる
- 国民の味覚を『慣ら』しながら減塩を進めるため、商品に対する不満が出にくい
- 国民の「いかにして健康になるかを考え実行する」という負担を軽減する



ならしお第二の矢 ～広報計画～

【具体的内容】

中食外食業界の塩分過多問題は企業の社会的責任
=HCSR(Health Corporate Social Responsibility)

「自己責任論」 → 「中食外食による一種の公害」

- ① HCSRを学校教育で大々的に取り扱う
- ② メディアやSNSで広報活動



ならしお第二の矢 ～広報計画～

【具体的目標】

長期目標： **30年**でHCSRの認知度**90%**達成

中期目標： **2030年代**の学習指導要領改訂の際にHCSRを盛り込む



ならしお第二の矢 ～広報計画～

【メリット】

- 業界へのアプローチに向けて世論の後押しを得ることができる
- 各産業の自発的な健康促進計画への意識を高める事ができる



ならしお第三の矢 ～研究支援計画～

【具体的内容】

国が主体となって『ならしお2048』に必要な研究を行う

例：各企業の減塩計画の技術的支援、コンサルティング、
代替調味料の安全性に関する研究



ならしお第三の矢 ～研究支援計画～

【具体的目標】

長期目標：**25年**で安全な代替塩の開発

中期目標：**10年**で企業の『長期減塩計画』の参加率**80%**



ならしお第三の矢 ～研究支援計画～

【メリット】

- 企業の『長期減塩計画』 参入のハードルを下げる
- 「ならしお2048」全体における官民学の交流を増やす



理想状態達成までの流れ

健康と食生活の多様性
が両立する社会

国民の負担なく減塩を

世論による
後押し！

第二の矢

段階的減塩！

第一の矢

技術的・学術的
に後押し！

第三の矢



「ならしお2048」が実現する2048年

- 「ならしお2048」の減塩計画成功
⇒糖分や脂肪などの削減計画へ
- 世論の普及
⇒企業が自発的に健康によい商品を開発
⇒他の食品産業への効果の波及



参考文献

・NHKスペシャル取材班(2017)『健康格差—あなたの寿命は社会が決める—』講談社

・厚生労働省(2017)「平成28年国民健康・栄養調査結果の概要」
(<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000177189.html>)(最終閲覧日:2018/08/31)

・農林水産省「我が国の食生活の現状と食育の推進について」
(<http://www.maff.go.jp/kinki/syouhi/seikatu/iken/pdf/kikakubukai.pdf>)(最終閲覧日:2018/08/31)

高村仁知他（1999）「市販の弁当類および惣菜類におけるミネラル含有量とその問題点」日本家政学会誌

・厚生労働省「健康日本21」(https://www.mhlw.go.jp/www1/topics/kenko21_11/b1.html#A13)(最終閲覧日:2018/08/31)

・厚生労働省「健康日本21(第二次)」
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kenkounippon21.html)

・ケースブックp47

